

循環器内科領域スタッフの医師募集について

申請に必要な書類は、「推薦書」、「履歴書」、「教育業績書」、「職務実績書」、「研究業績一覧表」及び「乳腺領域に関する実績と抱負」の様式は、別紙のとおりとし、それぞれの記入要領については、次のとおりです。

書類格納先

<https://fukuoka-u.box.com/s/ycs545rbfoe363kek09vjdnld1xzxb4y>



(1) 共通事項について

- ・ 推薦書は、任意の書式可。
- ・ 「履歴書」、「教育業績書」、「職務実績書」、「研究業績一覧表」は本学所定様式を使用します。
なお、外国人の場合は、自国語で別様式を使用しても問題はありませんが、その場合は必ず訳文を添付してください。
- ・ 記入にあたっては、パソコンを用いることとし、やむを得ず手書きをする場合は、黒インク又は黒ボールペンを使用して楷書体で丁寧に記入してください。
なお、外国語(英文)については、活字体で正確に書いてください。
- ・ 用紙の大きさは、原則として日本工業規格A4縦型を標準とします。
- ・ 推薦書、履歴書、教育業績書、職務実績書、研究業績一覧表の年は和暦で記入してください。ただし、研究業績一覧表の年については西暦で記入することができます。

(2) 履歴書について(記入例あり)

ア.「現職職名」について

- ・ 大学等の教育研究機関に勤務する場合は、大学・学部・職位または大学・大学院・研究科・職位のように記入してください。
- ・ 企業等(研究所等)に勤務する場合は、企業(研究所)・部局・職名のように入力してください。
- ・ 非常勤講師は〇〇大学非常勤講師のように記入してください。
- ・ 大学生は〇〇大学〇〇学部〇〇学科学生、院生は〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇課程大学院生、無職は「－」のように記入してください。
- ・ その他、常勤・非常勤問わず、職を有している場合は、職名・所属・役職・地位等、従事する職に応じた実態がわかるように記入してください。

イ.「学歴」について

- ・ 学歴は、高等学校若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(中途退学を含む。)のすべてについて始期及び終期の年月を正確に記入してください。ただし高等学校に関しては卒業年月からでかまいません。大学以降は入学と卒業(修了)は行を改めて記入し、卒業(修了)行には()付きで学位名も記入してください。

- ・ 大学は、学部・学科名(学科名がない場合は、課程名又は専攻名)までを記載してください。
- ・ 大学の別科・専攻科は学歴の欄に、聴講生・研究生等は職歴の欄に記載してください。
- ・ 大学院は、研究科名、課程名、専攻名までを記載してください。
- ・ 博士の学位を取得せずに、博士課程を修了するために必要な単位数を取得して退学した場合には、「修了」とせず「単位取得満期退学」と記載してください。
- ・ 学生として留学した場合は学歴の欄に、教育又は研究者として留学した場合は職歴の欄に記載してください。
- ・ 学歴と職歴を合わせて、空白となる期間がないように留意してください。

ウ、「医師免許、学位、専門医・認定医等」について

- ・ 学位は年次順(過去から現在)に学位名、授与大学名、学位(登録)番号を記入してください。なお、称号、資格、免許等を有する者は記入し、授与者、授与年月、授与番号を付記してください。医師免許を有する場合は、「医籍登録(第000号)」と記入してください。
- ・ 博士論文提出による学位取得の場合は、題目を含め具体的に記載してください。(業績書に詳細に記載されている場合は、題目は省略してかまいません。)
- ・ 専門医・認定医の資格を有する者は、「専門医・認定医」の欄に記入してください。
- ・ 過去において大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会を含む。)における教員組織に係る教員の資格審査を受け、教員の資格があると認められた者は、記入例を参照し記載してください。個々の大学判定についても同様に記載してください。
- ・ ディグリーミル(ディグロマミル)による学位は記入できません(ディグリーミルとは、実際に就学せずに金銭と引き換えに「学位」と称するものを授与する機関・組織・団体・非認定大学を指す)。
- ・ 教職免許などを記載してもかまいません。免許の種類を記載し、その後に免許認定都道府県名・免許記号を()付きで記入してください。

エ、「職歴」について

- ・ 職歴(外国出張等を含む)のすべてについて、始期及び終期の年月日を正確に年次順(過去から現在)に記入する。左欄には始期を記載し、右の事項欄には職名・所属、役職・地位について明記してください。((記入例)大学・学部・職位あるいは大学・大学院・研究科・職位、企業名・部局・職名等。)
退職している場合には、その後に()付きで退職年月日(平成(昭和)〇年〇月〇日まで)を記入し、現職には必ず(現在に至る)と記入してください。(空白の期間がないように始期、終期を明記してください。)
- ・ 担当科目に直接関係のある職歴は、できるだけ具体的に記載し、大学教員の職歴は、職名、職務等の他、主な担当科目を()で付記してください。
- ・ 自営業、兵役、無職等についても省略しないでください。(空白となる期間がないように、留意してください。)

オ、「学会及び社会における活動等」について

- ・ 専攻分野、研究分野に関連する所属学会や学術団体等の会員、役員について年次順(過去から現在)に左欄に入会年月を、右の事項欄に名称を正確に記入する。退会している場合には、学会や学術団体等の名称の後に()付きで退会年月を(〇年〇月まで)と記入し、現在も所属している場合は(現在に至る)と記入してください。
- ・ 教育研究上の業績その他の活動等の実績を記入する場合は、その内容をできるだけ具体的に記載してください。

カ. 賞罰について

- ・ 国際機関や国、地方公共団体などの機関や所属学会等から賞を受けている場合は、その受賞年月と評価機関、賞の名称を年次順(過去から現在)に記入してください。

キ. その他について

- ・ 現住所は、履歴書記入日現在における郵便番号、住所(都道府県名から記す)、電話番号、メールアドレスを記入してください。
- ・ 年齢は、この履歴書の記入日現在における満年齢を記入してください。
- ・ 写真は顔面が写真全体の1/2から2/3を占める正面からの写真で、写真のサイズは縦4cm×横3cmとします。 ※貼付写真は、白衣不可。(男性はスーツ、ネクタイ着用)
- ・ 記名押印又は署名押印された履歴書(一部)を正本とします。

(3) 教育業績書について

それぞれ年代順(過去から現在)に番号を付けて記入してください。

ア. 教育方法の実践例

現在担当している授業科目・臨床実習・演習、CBT・OSCE への関与、卒前教育での役割、優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容の web 上での公開

イ. 作成した教科書、教材

作成した教科書や教材、講義で教科書として使用している著書、教材等について、左の欄に項目名を付けて記入し、右の概要欄にその内容を簡潔に記入してください。

研究業績書に記載した著書、学術論文を記入する場合は、項目名の後に(再掲)と記入する。

ウ. 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価

*別紙⑤教育能力(教授会の評価)と同等の内容を記載してください。

エ. 実務家教員についての特記事項

*医学部・病院に勤務されている方は必要ないため、「特になし」と記載してください。

オ. その他

- ・教育実績に対する受賞歴、厚労省・文科省・医療研修推進財団主催の研修・講習への参加等について、左の欄に項目名をつけて記入し、右の概要欄にその内容を簡潔に記入してください。

※上記にとらわれず、積極的に記入してください。

(4) 職務実績書について

該当実績を年代順(過去から現在)に番号を付けて記入してください。

ア. 資格、免許

資格について、担当する教育内容に関するものなど、特に審査に関連すると思われるものについて記載してください。ただし、医師免許、専門医・認定医等については、履歴書に書いていただくことになっておりますので、ここでは必要ありません。

イ. 特許等

担当する教育内容等に関連した事項について記載してください。

出願人、発明人となられた場合、「発明の名称」と特許番号（または特願番号、特開番号）を明示してください。

ウ. 実務家教員についての特記事項

過去の経歴において、大学・病院等の教育研究・診療にのみ従事してきた方は、「特になし」と記載してください。

実務経験の記載方法については、履歴書の職歴欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した下記の事項等を参考に記載してください。

①従事した期間

②職務の内容（どのような職務について、どのような役割を果たしたか）

③成果、結果

エ. その他

1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。

(5) 研究業績書について

《記載例》

業績分類	No.	論文題名 / 著者名 — 発表雑誌 (年、巻(号) : 頁)	別刷有無
原著	1	A New antigen in leukemia sera / <u>Blumberg,B.S., Fukuoka,T., Visnich,S.-J.</u> Am.Wed.Ass.(1965, 191:541-546)	
学位	2	臓器移植と免疫 / <u>福岡太郎</u> — 臨床と研究 (1976, 53(2):326-335)	○

- ・ 業績リストの分類は、下記の業績分類毎に区分し、その区分を通じて和文、欧文の区別なく年次順(過去から現在)(西暦年号使用可)に記載し、一連番号を付すること。

①原著

②総説

③症例報告

④著書

⑤その他(報告書、学会記録*、年報など)*1～2頁の学会抄録は対象としない。

⑥学会発表(全国学会、国際学会で筆頭演者として発表したもののみ)

「発表題名/発表者—学会・会議名(発表年月、都市(国)名)」

⑦研究助成金(文部科学省科研費その他)「助成機関、種類、年度、代表者/分担者の別など」

- ・ 著書、論文等の発行所の年月だけでなく、書名、発表雑誌、学会誌等の名称、巻号、当該論文等の頁数も記入する。記入の内容は「論文題名 / 著者名[全員原本の順序で記載し、申請者にはアンダーラインを付けること] — 発表雑誌または学会発表等の名称(発行または発表の年、巻(号):頁)の順序で記載し、下線部の区切り記号を、スペースを含めて間に使用してください。

- ・ 博士学位論文は、No.欄、数字の下に「学位」と明示してください。なお、学位論文が単行本として刊行されている場合であっても、「著書」の区分に入れず、「原著論文」の区分に入れてください。ただし、修士論文は研究業績としては取り扱いません(学術論文の参考資料とすることはできます)。
- ・ 刊行予定、未印刷の論文等は、受理済(accepted)、印刷中(inpress)等を明記し、業績としてカウントすることができます。

《注意》 単に「投稿中」であるものは記入しないで下さい。「掲載証明書」を添付して下さい。

- ・ 別冊有無欄には添付分のみ○を付けて下さい。
- ・ 研究業績書の用紙の記入枠下に通し番号(頁)を記入する。
- ・ 記名押印又は署名押印された研究業績書(一部)を正本とする。

(6)教育能力・研究業績(教授会の評価)(別紙⑤)

本学における教育を担当するにふさわしい能力と研究を推進する能力について、これまでの経歴や業績を中心に500字程度の文章として記述してください。

なお、この別紙⑤の内容は教授会での審議で認められますと教授会の評価として取り扱いますので、最終的には推薦人の責任で仕上げていただき、末文については下記例文を参考にまとめてください。

教育能力(教授会の評価)

「以上のことから、申請者は○○に対し十分な経験があり、○○として十分な教育能力を有していると判断した。」

研究業績(教授会の評価)

「これらの豊富な研究業績から、申請者の研究能力は極めて優れており、将来性・国際性の高いものであると判断した。」

(7)論文別刷について

申請資格に応じた専門領域での原著論文数以上の論文別刷を提出してください。原著論文のうち、本人が筆頭、あるいはそれと同等に考えられる

ものについては必ず別刷を提出してください。 ※助教は、提出不要です。

別刷には、氏名と一覧表の分類別に示した番号を記入してください。

①准教授申請の場合：専門領域での原著 10 編以上

②講師申請の場合：専門領域での原著 5 編以上

※国際英文誌に発表された症例報告あるいは総説については、1 編に限り原著論文と同等に扱うことができます。ただし、筆頭原著数の換算対象外です。

③講師(4-7)申請の場合：専門領域での原著 3 編以上

※権威ある学術雑誌に発表された症例報告あるいは総説については、1 編に限り原著論文と同等に扱うことができます。ただし、筆頭原著数の換算対象外です。